

- 市川の冬の味覚を味わう…2面
- 初日の出はアイ・リンクタウン  
展望施設で……………3面
- いつも身近に 命の温もりを  
感じられる場所……………4-5面
- いちかわっこWEBに  
掲載する写真を募集……………7面
- 千本公孫樹ライトアップ……………8面



国道14号中央分離帯に咲くパンジー。寒い冬にも元気いっぱい。



現在放映中のドラマ「結婚しない」の舞台にもなっている花の名所・里見公園。



今年10月に開催したオープンガーデンには約2,500人が来場。庭を觀賞しながら、話にも花を咲かせていました。

## 花から伝わること 花から生まれるもの

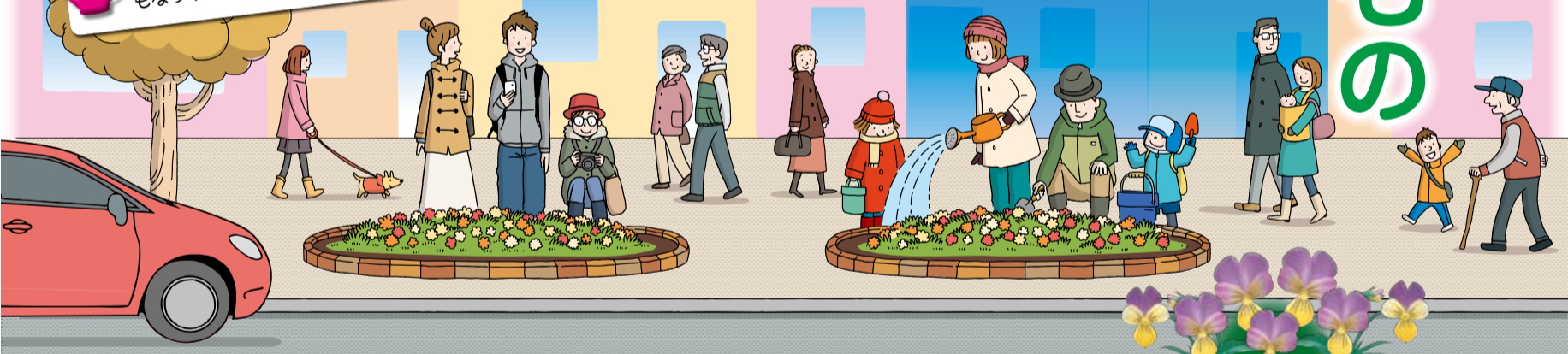
「花」といえば、あなたは何を思い浮かべますか。「美しさ」「良い香り」「癒し」「和み」など鑑賞した時の気持ちや、「種まき」「水やり」「肥料」のように育てるイメージなど、人それぞれですが、花との良い関わりは私たちの生活のあらゆる面で感じることが出来ます。

市内には花の名所といえる場所が数多くあり、以前からみなさんに親しまれています。最近では、JR市川駅付近の国道が沢山の花で彩られ、道行く人やドライバーの心に潤いを与えてくれています。

「オープンガーデン」や、様々な年代の方が花づくりに取り組む「協働花づくり事業」で、新たな出会いや交流の輪が生まれています。

そしてこの「ガーデニングシティいちかわ」では、これから新たな展開が始まるようになっています。その一つが、道路の植樹帯を花壇に変えて1年間花を見られる環境を作るとともに、市民のみなさんに花の世話を楽しむ場所を提供しようというものです。

多くの人がガーデニングを通じて集うことで新たな魅力が市川に生まれることでしょうか。



### 市民のみなさまへ

## 花がまちを変える 市長 大久保 博



「協働花づくり事業」として和洋女子大学で行われた花の植え替え作業

「ガーデニングシティいちかわ」が始まり1年半が経ちました。本市で推進しています「健康都市いちかわ」に通じる施策として、まちの魅力向上、心身の健康づくりへ向け、着実な歩みとなっています。

本年度はこれから、行徳駅前広場とニッケコルトンプラザに接する道路に新しい花壇を作ります。人が多く行き来する場所に花壇を作り、花の維持管理をボランティアの方に行っていたことで、育てる人と鑑賞する人との出会いと交流の場にしたと思っています。

保育園や大学、また、個人のお宅では、種まきから花を育て、育った花の一部を、近所に配る「協働花づくり事業」が広がりをを見せており、現在、施設で40カ所、個人で65人が取り組んでいます。保育園では、花づくりの知識を持つボランティアの方が園児に優しく指導し、育てた花を園児がご近所に配る活動を行っています。

また、学校では、PTAや地域のみなさんが「花ボランティア」として、除草や花植えなど、校内を花で美しく彩る活動を行うなど、地域での交流が生まれるとともに、心の教育にもつながっています。

先日、花の育成に関わる方々とお話しをする機会がありました。その効果をみなさんがいきいきとお聞かせくださったことが印象的でした。「気持ち癒され元気がなった」「土いじりで体を動かすことで健康の維持ができていく」など、みなさんがそれぞれに恩恵を受けていらっしゃいます。花の育成には、こうした個人の効果以外にも、教育的効果や人と人をつなぐ社会的効果など、多くの効果があるのではないのでしょうか。

今後、「ガーデニングシティいちかわ」は、これまでの展開に加えて、市川市のシティーセールスの視点から、産業振興や地域経済の活性化にもつなげていきたいと思っています。